

令和7年12月4日

舟形町議会

議長 斎 藤 好 彦 殿

総務文教常任委員会

委員長 奥 山 謙 三

総務文教常任委員会先進地視察研修報告書

総務文教常任委員会先進地視察研修の内容について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 期 日：令和7年11月17日（月）
2. 目 的：学校開放を利用した社会教育講座「みんなの学校」について
3. 観察場所：秋田県五城目町役場
4. 研修内容
 - (1) 学校を建てる前の取組について
スクールトークの実施（全住民参加型、先進事例の紹介、参加者同士の意見交換）
 - (2) 学校を建てる意義について
地域・社会との関わりを再構築すること
 - (3) 越える学校とは
可変性を残す設計やメディアセンターの活用のほか、学校図書室（2階）1階を地域に開放した地域図書室としている。
 - (4) 現在の取組について
 - ・教育留学（住民票の無い子どもも通える制度、区域外就学の実施）
 - ・五城目みんなの学校（社会の課題を解決するための教育と人材育成）
 - (5) 学校建築時に求めた事について
未来の教育環境を確保する事、対話から生まれる持続可能な教育環境を構築する事である。
5. 所 感：
 - (1) スクールトークの意見を反映させて、教室・廊下の仕切りの無い設計により、地域の学びの場としての学校建築を実行したことで、町民にとってより身近な学校であると感じました。
 - (2) 対面型講義学習からの脱却を進め、新たな教育の形を知る事ができました。
 - (3) みんなの学校が、子ども、地域の学び場として実践していることで、地域の活性化に繋がっていることを実感できました。
 - (4) 舟形中学校移転計画においても、参考にすべき点が多いと実感しました。
 - (5) 現地五城目小学校を観察できなかったのが残念である。